第75回全道演劇発表大会照明仕込みについて

代表校照明担当の皆さんへ

　代表校の皆さん、全道大会出場おめでとうございます。全道大会では、支部大会以上の成果を出されることを期待しています。

　今回皆様のお手伝いをさせていただくこととなりました、

ほりぞんとあーと　照明部　清水洋和　と申します。

　さてさて札幌大会は、別紙の基本仕込みで実施致します。

◆仕込み図に関して

１．アッパーホリ・ローホリ共色換え不可といたします。

２．単独サス（サス）は、色・場所・大きさとも自由とします。

ただし、原則として仕込図に有る１～１９でカバーできる範囲とします。

３．エリア照明も、色・場所・大きさ共自由とします。

　ただし、原則として仕込み図にある１～１４でカバーできる範囲とします。

４．シーリングのネライは、原則として１校５回路までとします。

　（ＦＲＥＥ①～⑱を使いまわします）

５．基本仕込みのほかに、エフェクトマシン・スパイラルマシン・ストロボ・ミラーボール・コロガシ・パーライト・ソースフォー・星球・追加ＳＳ等使用可能です。

　※会館にあるスペシャルなスポットに数に限りがあります。

　まずはご相談ください。（大体ご要望にお応えできるとは思いますが）

　どうしても使用したい機材が会館にない場合はご相談ください。

　別途料金がかかりますがご用意することは可能です。

　大会という性質上、基本会館にある機材等は使いまわします。

　会館にある台数は制限がございます。

　各校の要望を踏まえたうえで最終的に振り分けます。

６．フォロースポットは、２CLからランプＰＩＮ２台になります。

　照明専門技術スタッフの指示によって生徒か顧問で操作していただきます

※基本的には、各学校のご要望にできるだけお答えしたいと考えております。

具体的なイメージを打ち合わせの時にお伝えください。

◆打合せに準備するもの

１・会館の設備や備品、機材、仕込み図、位置関係などを把握する。

２・照明スタッフとの打ち合わせには、以下の４点（６点）が必要です。

　　△照明Ｑナンバー、転換内容を書き込んだ　台本

　　△照明キューシート（事務局で用意したものでお願いいたします）

　　△照明データ（各会館のご協力のもと、データをご用意ください）

　　△舞台仕込み図面

　　▲照明アタリ図面

　　（特別な照明を当てたい場合のみ、舞台図面や仕込み図に当て方を記入）

　　▲フェーダー表（サブフェーダーを使用する時のみ）

　　※Ａ４用紙サイズで統一する

　　※誰が見ても見やすく・読みやすく・わかりやすい内容を示す。

　　※大道具の位置関係で照明プランが変わるため、打ち合わせには舞台仕込み図面が必要となります。

　　　サスやエリアを使用した場合は舞台仕込み図面に正確な位置・大きさ・用途を記入してください。

◆Ｑに関して

・照明操作者はＱの割り振りが必要です。

・全道大会の為、支部大会の時よりもリハーサルの時間が短い場合がございます。（多い場合もございますが・・）

　少ないリハーサル時間の中での明かりづくりになります。

　時間を有効に使えるように工夫してＱを考えましょう。

　なお、リハーサル時間内に作成できなかったＱに関しましては本番でも再生

　されませんので、Ｑの数に関しても必要なＱなのか、考えてみてください。

※全道大会のリハーサル時間は限りがあります。

　１つのＱを作るのに２～３分ほど掛かります。

　Ｑが多くなるという事はそれだけ時間がかかるという事です。

・基本Ｑの再生はサブフェーダー２０本orクロスフェーダーとします。

 各支部で、使用していた再生方法で構いませんので打ち合わせの時にどちらを使用したいか必ずお伝えください。

・打合せ日までに、学校内の各部門で内容の統一・情報連絡漏れの無いように揃える事が必要です。

※照明担当者だけで判断できない場合は、演出か舞台監督が照明打ち合わせに　　同席してください。

・スモークマシンなどの使用は事前に申し出てください。

・持ち込み機材や電源が必要なものは、事前に申し出てください。

◆本番に向けて対策する事

１・操作について

　・調光室に入る生徒・顧問はクロスフェーダーもしくはサブフェーダーを

　　操作していただきます。

　　操作方法は打ち合わせ時とリハーサル時に確認してください。

　・照明プランを考えた人が本番当日に調光卓を操作しない場合は、

　　引き継作業を正確に行ってください。

　・フォロースポットは２台まで使用可能です。

　　照明専用技術スタッフの指示によって生徒か顧問で操作していただきます。

　本番で操作する方は、リハーサル時間で操作練習が必要です。

　無断での使用、作業場所への移動は禁止、必ずプロスタッフ同行で作業場所まで行きます。

　動きやすい服装で、軍手も持ってきてください。

　なお、ＰＩＮまでは３分ほど移動時間がかかります。

◆照明注意事項

１・照明シーンのプラン

　・役者の表情や動きが見える（見せる）プランを考える。

　・芝居の中で一番ポイントになる部分は何かを考える。

　・明るさ、当てる角度、色合い、仕込みや操作に問題ないか。

　※単独公演ではありませんので、全ての演出通り、台本のイメージ通りに

　　仕込むことは出来ません。

　※演劇発表会の特性上、時間・仕込み状況・設備等の問題で出来ないシーン　　　は、カットしていただく場合がございます。

２・各部門とのコミュニケーション

　・普段も会館に来た際も大事なポイントです。

　・舞台監督・演出・役者・装置・音響・顧問。関わる人全員が常に内容と

　　情報を共有して置くこと。

３・リハーサル

　・調光室へ入る時は学校名をはっきり伝え入室してください。

　・リハサル時間の５０分の中で照明担当者が、照明専門技術スタッフと照明を作成していきます。

　・明かりづくりが終了するまできっかけ合わせ等をすることは出来ません。

　・明かりづくりが終了した時点で調光室から舞台監督にインカム等で必ず　　　連絡してください。

　・最終的な明かりを決める人を決めてください。

　　※多くの人で悩めば悩むだけ時間は過ぎていきます・・。

　・サスやエリアの位置や大きさは本番同様には確認できません。

　　（リハーサルの時間が少ないため、各校ごとの準備はできません）

　　　※どうしても照明を合わせたい場合は、リハーサル時間の中で、時間を

　　　　使ってお見せすることは可能です。

　　　　ただし、リハの時間はその分少なくなります。

　・照明図面にある、基本的なベタ明かり・ホリゾントの色はリハーサルで十

　　分に決められます。

　・「完全暗転」はリハーサル中に時間をとり全員での確認が必要です。

◆照明シーンの作成（明かりづくり）とは

　機材を選び、明るさを調節し、組み合わせてシーンを作り調光卓へメモリーする作業の事です。

・今大会は、打合せで頂いた照明プランをあらかじめ、荒打ち込みをいたします。

※リハーサル開始と同時に明かりを修正確認していただきます。

・作成シーン総数と、中身の把握が必要です。

・客席からの確認者は、的確に指示できるように準備をしてきてください。

・リハーサル時間内で明かりづくりが早く終了した場合は操作練習の時間が取れます。

・操作者は慣れていない人が多いかと思いますので、リハーサル時間内に作業が終わらなさそうなＱ内容はお勧めしません。

・最後まで作り終わらない場合は、本番もそのままＱが再生されませんの

で、必ずリハーサル時間内で終わるような内容を考えてきてください。

◆照明合わせ

・確認者または照明担当者が、照明専門技術スタッフと合流し照明合わせの開始を伝えて進めてください。

・上演前は時間が多くはありませんので、的確に示せるように準備をし集中して取り組んでください。

・照明合わせの時間は、役者の場当たりの時間ではありません。

・照明位置の確認が必要な役者は、すぐ対応出来るようにしておいてください。

・舞台上は急に暗くなったり、サスバトンの昇降等がありますので出入り等は

十分に注意してください。

・照明位置の場ミリテープが必要な場合は、事前に準備しておいてください。

◆最後に

舞台上は非常に危険です。

普段とは違う空間、予測しない事が起きる場合があります。

慌てない・走らない・勝手にやらない。

舞台について気になる点は早めに確認しておいてください。

以上ですが何かわからないことがございましたらご連絡ください。

なお、今回お送りしました仕込み図等はあくまで仮仕込み図となります。

全体的な内容が見えましたら修正いたします。

札幌市西区発寒10条14丁目1067番18

株式会社　ほりぞんとあーと

担当　　清水洋和

℡０１１－６６２－００７１

FAX０１１－６６２－２０７７

E-Mail：h.shimizu@horizont-art.co.jp